

# Aikou

2024年10月園だより

愛香南部幼稚園

〒921-8035

金沢市泉が丘1-16-8

Tel 241-3860

## 「自分だけのひみつ基地」

チャプレン 山田 和人

遠い過去の記憶の引き出し。幼稚園のお友だちの何気ない日常に触れることで、その引き出しから懐かしい記憶が蘇る。狭い空間が妙に心地良いと感じたあの頃。

ある朝、みんなが集まる教室を覗くと、自分だけのひみつ基地の場所を教えてくれた。話し合いの末に決めた一人ひとりの居場所らしい。自分だけの居場所があるって、すごく大事なこと。それは、家の中で個室があてがわれることを必ずしも意味しない。夢みる子どもの心には、ソファの片隅であれ、階段下であれ、自分が心地よいと感じる居場所があるものだ。私の場合は、自転車の荷台にありったけの積み木を詰め込んだ手提げ袋をいくつもぶら下げて、一人旅に出かけた。可愛い子には旅をさせると言うけれど、実際には親離れする年齢でなくても、一人旅を自分だけの空間の中で経験することは、やがて本当に親離れをする時のために必要なことだと思う。

子どもであっても大人であっても、それぞれが不可侵の領域を持っていることで心の平安は保たれるものだと思う。自転車で荷物をいっぱいぶら下げて自分だけの世界にいる私の様子を見て両親は何と想像だろう。「何をしてるの」とは聞かれたけれど、邪魔はされなかった。一人でいることが保証されると、子どもは集団の中でも安心して自分の居場所を見つけられるのかもしれない。

## 「幼稚園の思い出」

園長 富樫 立子

この夏、愛香南部幼稚園は苦渋の決断をしました。幼稚園はどうあるべきかを考える中で、自分の幼稚園時代を何度も思い出しました。私はこの愛香南部幼稚園の卒園生です。当時はより組40名以上いる友だちぎゅうぎゅうな幼稚園でした。楽しかった思い出はたくさん今でも鮮明に覚えています。語り始めると止まらないほどなのですが、思い出一つひとつに必ずお友だちが関わっている事に気が付きました。行事の思い出ではあるものの、〇ちゃんと一緒にしたこと、〇くんが助けてくれたこと、など友だちとの関わりの出来事が楽しく嬉しい経験として印象深く心に残っているのです。

幼稚園は友だちとの関わりの中で心も身体も大きくなる場です。小さな幼稚園の中でも友だちとの深い関わりが最後まで守っていきたくと強く願います。



# くらすすけっち

楽しみにしていた2学期が始まりましたが、いつまでも暑かったですね。その中で、前半はプールや泥水遊びを楽しみました。時には、すみれ組の2人と私だけで泥水遊びの時もありましたが、その時はゆっくりまった〜とした優しい時間の流れを感じ、こんな時間も大切だなと思いました。

最近、身近な素材を用いての製作や、かけっこごっこを楽しんでいます。どちらかが、何かをしていると、自分もやってみたくお互いを意識して過ごす姿が見られるようになってきました。2歳児は友達と関わっているようで、まだまだ、自分の思いで遊ぶ時です。友だちと関わって遊ぶための土台を大切に過ごしていきたいなと思います。

運動会というワードをちらほらと聞いている2人ですが、何のことかわかっているような、いないような・・・？それでも走るの大好き、体を動かすのが大好き♪私に向かって駆けて来る姿は何とも愛おしいです。キラキラ体操などを踊る姿もとても可愛いですよ。初めての運動会、にこにこ笑顔いっぱいなお家の方と共有し楽しみたいと思います。

すみれ組 宮崎 詩世

まだまだ泥遊びで涼を取り入れる日もあります。お庭を抜ける風からは少し秋を感じる瞬間も増えてきました。糊やハサミなど製作の時間もお気に入りの3人。敬老の日のハガキのようにスタンプのコスモスを、トイレットペーパー芯でトンボを作るなどお部屋の壁は一足早くみんなが作った秋の製作物が並んでいます。

「〇〇ちゃんあーそぼっ」「〇〇くんとまた電車であそぶの！」「きのうのつづきは？」3人の声を聞いているとこのような言葉が増えてきました。お友だち同士の関係が深まり、今までよりもっと楽しい方法を見つけて「きょうもあそぶ！」気持ちに変化している姿が見られるようになりまた一つ成長だなあと感じます。

10月はいよいよ運動会ですね。先日公園でかけっこをしてみました。愛香南部幼稚園のかけっこは走る前に先生に名前を呼ばれて「はーい」と返事のスタートです。この日は大きなお返事とにこにこ笑顔でゆり組さんの待つゴールに走っていく姿が見られました。当日はどんな姿がみられるのかな？私も楽しみです。

たんぼぼ組 北村 愛実

9月も暑い日が続き、どろんこ遊びを楽しみました。1学期の遊びと少しずつ変化してきて…「ここにあなほって、どこまでほれるかやってみよう！」と言って、みんなで掘り始めました。じゃぶじゃぶ池から水を持ってきてまわりの砂を固めていく子、掘り続ける子、掘った砂を別の場所に持って行く子などの分担作業が出来ていて、子どもたちの思いが詰まった穴掘りが出来上がってきました。「お部屋に入るよ〜」と伝えると、「え〜、まだやりたい！」「これ、このままにしてもいい？」「でも、たんぼぼさんたち、おちないかな？」という声も聞かれ、自分たちの楽しさもありながら、年下の子たちの心配も出来るようになってきたのだな〜と嬉しく思いました。何日も続けることで思いきり楽しむことが出来ました。涼しくなってきたどろんこ遊びをするには、肌寒いかなど感じる季節になってきましたが、引き続き楽しめるようにしたいと思います。

大イベントのひとつ、運動会の準備も始めています。今年のゆり組…ほとんど座る時間もないくらい競技に参加します！！が、いつも以上に子どもたちの思い出に残る運動会になることを願いながら当日を迎えたいと思います。

ゆり組 氣谷 彩子

プール最後の日。ゆり組さんはいつものように、プールでキャッキョ言いながら、水を掛け合ったり、泳いだり、走ったり・・・そして宝探しなど楽しんでいました。

そのうち、プール端のパイプに掴まっていたお友だちが「ねえ、だれかほくのりょうあしひっぽって〜！」と声をかけました。「よっしゃ！ひっぽるぞ〜」とあそんでいると・・・

あれよあれよと「おおきなかぶ」のお話のように、「オーエス！オーエス！」と声をかけ引っぱりはじめました。みんな力を合わせていい顔をしながら引っぱり張ります。パイプを掴まっているお友だちも、絶対離すまいと真剣です。「うわあ〜たすけて〜」と手のはなれてしまい、プールにドボン！それでもここにこ笑顔でした。

「つぎ、わたしする〜」「ほくもしたーい！」と掴まる方の順番に行列ができていましたよ。

たっぷりとプール遊びを楽しんだ夏でした。

櫻井 真澄

